

# 平成21年度 財団法人上田市体育協会事業報告書

(敬称略)

平成21年度、当協会は、市民の体力向上とスポーツ精神の高揚を図ることを目的とし、市民一人ひとりがスポーツ活動を継続的に実践し、健康で生涯にわたりスポーツに親しむことができる明るい社会と競技力の向上につながるスポーツ環境の整備を目指し、当協会加盟団体及び関係機関・団体と連携し次の諸事業を実施した。

## 1 スポーツ活動の推進と行政との連携

加盟団体と連携強化を図りながら市が主催するスポーツイベント・スポーツ教室（上田地域）の開催に協力し、市民のスポーツ活動の参加を推進した。

## 2 競技力向上事業の推進

競技力向上委員会は、競技力の一層の向上を図るため、競技力向上事業補助金交付規定中選手強化事業の改定を行い、次の6団体に対して強化選手の指定と補助金を交付し、競技力向上への取り組みに対し支援を行った。また、上田市のスポーツレベルの向上を図るため指導者・審判員への支援体制について、加盟団体への予備調査を22年度当初に実施予定。

[21年度強化選手]

- 上田ソフトテニスクラブ（4名）上沢理恵 中山慶子 大塚真由美 南波裕子
- 上田柔道協会（4名）内山貴之 松井孝文 勝見藤一 丸尾泉
- 上田乗馬倶楽部（2名）増田真七海 金子哲之
- 上田アーチェリークラブ（5名）宮原雅 関一也 北沢義雄 市川義之 林美月
- ボウリング連盟上田支部（4名）竹下将弘 加藤勇雄 桂功一 西島博
- 上田レスリング協会（8名）金井由騎 橋本登 長崎宏樹 竹内徹 宮島善太  
小林龍太 荻原圭司 佐藤翔太

## 3 青少年スポーツ振興及び育成事業の強化

将来の上田市を背負う少年のスポーツ活動を支援するため、市内スポーツ少年団34団体への活動支援と自主的で主体性のある活動を推進する中で子どもたちの体力向上と健全育成に努めた。また、指導者の質的向上を図るため有資格指導者への支援を引き続き行うとともに指導者の講習会への参加や資格取得を促進した。

また、市内小・中学校及び保育園へ入団の案内チラシを配布し団員の確保増員に努めた。

○スポーツ少年団登録状況

年度	登録団数	団員数	指導者数
21年度	34団体（26種目）	2,190人	436人
20年度	34団体（26種目）	2,199人	425人

#### 4 体育施設整備の促進

体育施設の整備については、剣道連盟、弓道協会、柔道協会の3団体から出された武道館建設とテニス協会、ソフトテニス協会から出された上田城跡公園内テニスコートの改修及び陸上競技協会からの陸上競技場移転について、引き続き市に要望した。

また、加盟団体に対して施設改善要望アンケートを実施し、市へ要望した結果、テニスコートフェンス改修など幾つかの施設の改善が図られた。

なお、課題として、長野国体二巡目における上田市開催種目は未定であるが、今後施設整備等について研究が必要である。

#### 5 スポーツ教室・大会・講習会・研修会の開催と支援

市民のスポーツ活動への参加促進を図るため、市民総合体育大会を開催し15種目の競技に、約3100人の参加があった。また、指導者や市民を対象にスポーツ講習会を実施した。今後、傷害予防の観点から更に充実した内容の講習会を図っていく必要がある。

##### ○ 前期ストレッチング、テーピング講習会

5月14日(木)・21日(木) 城跡公園第二体育館 18:30~20:30

講師 小嶋国彦氏(アスレチックトレーナー)

参加者数 ストレッチ/36名 テーピング/47名

##### ○ 後期ストレッチング・テーピング講習会

9月10日(木)・17日(木) 城跡公園第二体育館 18:30~20:30

講師 小嶋国彦氏(アスレチックトレーナー)

参加者数 ストレッチ/32名 テーピング/33名

#### 6 市民の健康体力づくり運動への支援

市民が自主的で主体性な活動を行うことのできる環境づくりを目指し、「市民健康づくりの日」事業は、着実に実施され、多くの参加者より好評を得ている。

また、平成9年度から始まった事業も記念すべき500回を迎え、7月21日には記念事業を実施し、松本大学犬飼己紀子教授による記念講演会を開催した。

○21年度 48回開催 参加者数 5,554人

○20年度 49回開催 参加者数 5,690人

#### 7 スポーツ交流の推進

スポーツ少年団の軟式野球・硬式野球・剣道の各交流大会を上田市で開催し、団員相互の交流を図った。

#### 8 体育功労者及び競技優秀選手等への表彰

本協会表彰規程に基づき、理事会で決定し、体育功労賞12名、栄光賞個人2名を表彰した。また、第58回長野県縦断駅伝競走で優勝した上田東御小県チームへ特別表彰を行った。

##### ○体育功労賞受賞者(12名)

宮下 洋(軟式野球連盟) 吉池 英勝(ソフトテニスクラブ) 春日 啓孝(柔道協会) 松村 俊雄(バレーボール協会) 柏倉 商三(剣道連盟) 安藤 教光(弓道)

協会) 本田 定雄(ソフトボール協会) 堀内 茂夫(空手協会) 神谷 重子(ゴルフ協会) 宮田 祥司(少年硬式野球連盟) 齊藤 咲子(ゲートボール協会) 五味 芳子(スポーツダンス協会)

○栄光賞受賞者(2名)

増田真七海(乗馬倶楽部) 根橋寛(空手協会)

○特別賞

上田陸上競技協会 駅伝部 部長 横沢 了、監督 ビルレッティエー 選手27名

## 9 国体選手の激励と壮行会の開催

上田市から長野県代表として参加する国体の選手・監督・コーチ・トレーナーを激励するため、9月10日(木)に市役所本庁舎6階大会議室で壮行会を開催した。

○第64回国民体育大会 新潟国体出場者数(54名)

陸上(6名) 水泳(2名) サッカー(14名) テニス(1名) バレーボール(1名)  
バスケットボール(4名) レスリング(11名) ソフトテニス(6名) 馬術(2名)  
バドミントン(1名) アーチェリー(6名)

## 10 広報活動の推進

体育協会紙「体協うえだ」の発行や市の広報紙を活用して市民への情報提供に努めた。「体協うえだ」は、読みやすく親しめる広報紙づくりを目指してより一層の充実を図って参りたい。また、広報媒体の充実を図るため、体育協会独自のホームページの作成についての検討を始めており、22年度において実施予定。

○第57号 平成21年 8月15日発行 9,000部

○第58号 平成21年12月15日発行 9,000部

## 11 県大会規模以上の各種競技大会開催に向けての誘致活動と開催支援

「第23回上田古戦場健康ハーフマラソン大会」の開催支援や全国から180チーム参加の「全日本生涯野球大会」など、加盟団体の運営協力により毎年盛大に開催され、上田市の観光PRにも寄与している。

## 12 加盟団体組織の充実

加盟団体において自主的なスポーツ活動が安定した運営により実施できるように運営支援を37団体に行った。体育協会事務局では毎年の補助金交付に当たって、役員体制、総会(役員会)に提出した事業計画、予算書、事業報告、決算書などの資料提出を求めて執行していることから、全般にわたって適正な会計処理がなされ、改善されて来ている。

また、総務専門委員会においては、加盟団体への補助金の適正化のため、事業実績に見合った補助制度に改め改善結果が組織の充実と活性化につながることに期待したい。

## 13 体育協会の合併

合併については、各地域体育協会へ合併についての話合いの申し入れを行ったが、合併に向けての動きが見られず進展が得られなかった。統合に向け行政主導による第1回合併

調整会議が3月に開催され、今後の進展に期待したい。

#### 14 賛助会員の募集拡大と財源確保

当協会の諸事業について、賛助会員の理解を得るため体育協会広報紙への掲載を年2回に増やすとともに、財源確保のため財務専門委員会で協力し、企業団体、個人会員等に働きかけ、賛助会員の加入促進を図った。また、昨今の厳しい経済状況の中、財務専門委員会だけでの会員確保は難しく、今後、加盟団体の協力がより一層必要である。

○賛助会員の状況（平成22年3月31日現在）

年 度	会員数	金 額	継続会員	新規会員
21年度	272	273万円	265	7
20年度	298	305万円	288	10

#### 15 スポーツ会館の建設

上田城跡公園第二体育館の増設実現に向けて市へ要望してきたが、耐震構造等の問題により増設については困難となったが、スポーツ会館建設については、今後策定を進める「スポーツ振興計画」の策定の中で位置付けを明確にして参りたい。

#### 16 スポーツに関する調査研究

(1) 施設専門委員会と関係加盟団体は、先進地の体育施設建設研究のため山梨県へ陸上競技場、武道館、テニスコートの視察を実施した。

○期日 平成21年12月3日（木）

○場所 南アルプス市 楡形総合公園 ・ 甲府市 小瀬スポーツ公園

(2) 新上田市スポーツ振興計画早期策定のため、教育委員会の新潟市への視察に随行し、スポーツ振興基本計画の策定経過等の調査を行った。今後のスポーツ振興、施設整備に大きな影響を与える計画なので策定については行政との情報交換及び連携が特に重要である。

#### 17 公益法人制度改革の研究

新公益法人制度については、平成25年11月までに実施することが決定となった行政庁より講師を招き理事及び総務専門委員で制度概要、移行認定・認可等の制度改革についての勉強会を行った。

#### 18 他機関・他団体事業の協力

(1) 市民のスポーツ活動支援として、地域事業所及び学校のスポーツ大会へ加盟団体と協力し審判員の派遣を行った。

(2) (財)長野県体育協会の事業については、連携を図りながら体育振興を図った。

○長野県体育協会評議員に事務局長（専務理事代行）松沢征太郎が就任した。

(3) 東信都市体育協会連絡協議会においては、上田市、小諸市、佐久市、東御市の四市体育協会が8月26日に佐久市で本絡協議会を開催し、各市提案事項の協議や情報交換を行い、東信地区4市の連携を図った。